

## 地方独立行政法人埼玉県立病院機構中期計画素案（骨子）

### 第1 中期計画の期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）

### 第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

#### ○ 高度専門・政策医療の持続的提供と地域医療への貢献

- 病院機能に応じた質の高い医療の提供、新たな医療課題への対応、地域医療機関との連携

【指標】紹介率、逆紹介率

- 循環器・呼吸器病センター（循環器・呼吸器系疾患の高度専門医療、SSN基幹病院としての脳卒中患者の受入れ、第二種感染症指定医療機関としての医療等）
- がんセンター（都道府県がん診療連携拠点病院としてのがん医療、ロボット支援下手術の導入、がんゲノム医療の推進、臨床腫瘍研究所における専門研究等）
- 小児医療センター（小児専門病院としての高度専門医療、周産期医療の充実、小児三次救急の提供、がんゲノム医療・CAR-T細胞療法の実施等）
- 精神医療センター（依存症・児童思春期精神疾患・医療観察法指定医療機関としての高度専門医療、精神保健福祉センターとの一体的な運営等）

【指標】公開研修の年間開催回数（循呼）、手術支援ロボット使用件数（がん）、小児がん登録数（小児）、依存症プログラムの年間参加延べ人数（精神）

#### ○ 患者の視点に立った医療の提供

- 患者等の満足度向上（インフォームド・コンセントの推進、待ち時間の短縮、入院支援センターの活用）、積極的な情報発信、医療の標準化と最適な医療の提供

【指標】入院患者満足度、外来患者満足度、クリニカルパス適用率

#### ○ 安全で安心な医療の提供

- 医療安全対策の推進と適切な情報管理、感染症対策の強化、災害対策の推進

【指標】インシデント・アクシデント報告件数に占めるレベル0の割合

### 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

#### ○ 優れた経営体に向けた組織づくり

- 法人の業務運営体制の構築、業績評価指標による改善活動、勤務環境の向上

【指標】職員満足度

#### ○ 人材の確保と資質の向上

- 医療人材の確保、人材の育成、職員の経営参画意識の向上

#### ○ 経営基盤の強化

- 病床の効率的な運用、各病院の特性に最適な施設基準の取得、適正なレセプト作成、人件費の適正化、共同購入対象品目の拡大、後発医薬品の積極的な導入

【指標】新規外来患者数、病床利用率、材料費対医療収益比率、後発医薬品採用率（数量ベース）

### 第4 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

- 予算（令和3年度～令和7年度）
- 収支計画（令和3年度～令和7年度）
- 資金計画（令和3年度～令和7年度）

【主な指標】経常収支比率、医療収支比率

### 第5 短期借入金の限度額

10,400百万円（一時的な資金不足や想定外の資金需要への対応）

### 第6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

なし

### 第7 剰余金の使途

病院施設の整備、医療器機の購入、高度医療を担う人材育成等に充当

### 第8 料金に関する事項

#### ○ 診察料等

- 健康保険法等の規定に基づき算定した料金
- 特別病室、非紹介患者、保険外併用療養費等の料金の算定
- 身体検査、予防接種、駐車場、診断書等の料金の算定

#### ○ 還付及び減免

- 診察料等の料金の還付・減額・免除（特別の理由がある場合）

### 第9 県の保健医療行政への協力と災害発生時の支援

- 新たな感染症への対応（関係機関との連携強化、各病院の特性や人材を活かした取組）
- 小児医療センター（災害拠点病院・埼玉DMAT指定病院として大規模災害発生時に重篤救急患者の受入れ、災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣）
- 精神医療センター（DPAT先遣隊登録機関として災害時等にDPAT先遣隊を派遣、災害拠点精神科病院の指定に必要な施設・設備の整備や運営体制を構築）

### 第10 その他業務運営に関する重要事項

#### ○ 法令・社会規範の遵守

- 法令の遵守、社会規範の尊重
- 法人運営の透明性の確保、業務内容等の情報発信

#### ○ 計画的な施設及び医療器機の整備

- 老朽化や緊急性を考慮した計画的な施設整備
- 県民の医療ニーズや費用対効果を考慮した計画的な医療器機の更新
- 施設・医療器機の整備予定額（総額 14,095百万円）

#### ○ 精神医療センター建替えの検討

- 中期計画期間中の建替えを視野に検討